

【国語・小4・「気持ちの変化を読み、考えたことを話し合おう『ごんぎつね』】①

育成を目指す資質・能力

文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方について違いがあることに気付くことができる。



ICT活用のポイント

感じたことや考えたことの共有による、学びの広がりや深まり



【つかむ】

うなずいたごんの気持ちの振り返りから学習の見通しをもつ。

感じたことを伝え合い、うなずいたごんの気持ちを考えよう。

事例の概要

●登場人物の気持ちについて、ICT端末上で共有された友達の感じたことや考えたことを自分のものと比較して、考えを広げたり深めたりする。



【追究する】

共有された友達のごんの気持ちに対する考えを基に、自分との違いを考え、伝え合う。

【事例におけるICT活用の場面①】

●前時までに読み取った登場人物の気持ちについて、学習支援ソフトを通して提出された友達の感じたことや考えたことをICT端末上で読む。



【まとめる】

自分の見方が変わったことについてまとめる。

【事例におけるICT活用の場面②】

●自分の感じたことや考えたことについて、見方が変わったことを学習プリントに記述して、学習支援ソフトを通して提出する。



【国語・小4・「気持ちの変化を読み、考えたことを話し合おう『ごんぎつね』】②

タブレットを使うときは

**20-20-20
ルール**

- ・20分したら
ひきやす
 - ・20秒休み
 - ・20フィート(約6メートル)
いじょうとこ
以上遠くを見る
- は
晴れているときは
そと
外で遊ぼう!



ICT端末を起動した時は壁紙でルールを確認します。

目の健康のためにルールを守って使いたいな。

【事例におけるICT活用の場面①】



提出BOXに入れた自分の考えを確認しましょう。

自分は「兵十に償いの気持ちが伝わってよかった」と考えたよ。

友達はどうのように考えたのかな。



【事例におけるICT活用の場面②】



「悲しい」と考えたのは「ひとりぼっち同士なのに友達になれなかったから」なんだな。

ICT端末上に一覧を仲間分けして提示することで効率よく考えを比べることができる。

「なるほど！」と感じた考えはありましたか。

考えが広がったり深まったりしたことを交流する。



自分と同じ「よかった」と考えている友達が多いけど違う考えもあるな。

「悲しい」と考えた友達がいるけど何でだろう。

提出BOXに保存してある自分や友達の学習プリントをICT端末上で確認する。

クラス全員分の学習プリントを一覧表示して、それぞれの考えとその根拠を確認できる。

『兵十が「ごんぎつねめ」から「ごん」へ呼び方を変えたから気持ちが伝わった』という考えです。

【活用したソフトや機能】

- 学習支援ソフト
 - ・データ送受信
 - ・一覧表示